

候夏之分ハ九月冬分ハ十二月ニ入候ハ、不及返納候候、

一 閏月ハ、月數之内ニ而籠リ候事、略、中

右之通可被得、其意候、以上、

享保五子年四月

〔書替所定書〕當時定法

一 御役料ハ、高三分一渡、元祿十六未年よ  
添狀ニテ極る

一 御役料取、御足高被下、御役料上り候節ハ、受取候分<sub>ノ</sub>御役料、御足高之内ニ而引落し渡る、

但御足高より最前之御役料多引不足之節ハ、其年中御足高不相渡、引残り之分不及返納翌

年より御足高被下候、但御役扶持も同斷、享保八卯年、御證文ニ而極る、但書享保十五戊  
年十二月、寛延元辰年九月、御證文ニテ極る、

一 御役料、御足扶持、御役扶持、取來る者、御加増御足米等被下、右取來る品々上候時ハ、不及引落、先

達而受取分ハ、其儘被下候、

但御加増御足米被下候以後請取候へバ、引落ニ成る、享保八卯年、御足高被下候、  
已後より、御證文ニテ極る、

一 閉門、御免以後閉門中之御役料ハ不被下、歸役以後之御役料計被下候、御役扶持も、閉門中之御

役、扶持ハ不被下、歸役之月より御役扶持渡る、尤其時ニ添狀、元文ニ巳年、  
添狀ニテ極、

一 遠慮、逼塞之者、御役料御役扶持、御免以後、溜り之分ハ添狀ニテ相渡、但御免之時ハ不渡、

一 子御役料取ニテ、父家督被下、御役料上り候節ハ、父死後ニても家督已前請取候へバ、返納無之

候、家督以後ニ候へバ、返納ニ成り候、享保八卯  
年、伺極る

〔御用留〕酉冬御切米御張紙寫

當酉元文久冬、御役料請取高、三步一米、三步二金ニ而可相渡候、

一 御役料二百俵有餘以下ハ、十月十三日より同十四日迄、